

2020年11月19日
イオンモール株式会社

SDG s 企業番付で偏差値上位 129 社に選ばれました。

イオンモール株式会社（以下、当社）は、ISO26000 に対応する CSR 活動を行うとともに、国際社会全体の開発目標として 2015 年 9 月の国連サミットで採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された 17 項目の「持続可能な開発目標（SDG s）」の実現に寄与する企業活動に全社を挙げて取り組んでいます。

日経 SDG s 調査は、日本経済新聞社が上場企業など国内 731 社について、国連の「持続可能な開発目標（SDG s）」にどう取り組んでいるかを調査するもので、SDG s 経営を「SDGs 戦略・経済価値」、「社会価値」、「環境価値」、「ガバナンス」の 4 つの視点で評価し、総合力を星 5 段階で格付けしています。

この度当社は、5 段階評価で 2 番目に高い星 4 つに格付けされ、同調査における企業番付では偏差値上位 129 社に選ばれました。



当社は、環境、社会、ガバナンスへの配慮に係る取り組みを推進し、ローカライゼーションの視点に基づいたエリアごとに個性あるモールづくりを国内外で推し進めることにより、人々のライフスタイルの向上と地域社会の発展に貢献することを指針としています。また、長期ビジョンである「2025 年にめざす姿」を実現するため、ESG 視点での重要課題として「地域・社会インフラ開発」「地域とのつながり」「環境」「ダイバーシティ・働き方改革」「責任あるビジネスの推進」からなるマテリアリティを定めました。

引き続き、ESG 視点に基づく経営を推進するとともに、「持続可能な開発目標（SDG s）」の実現に貢献してまいります。